

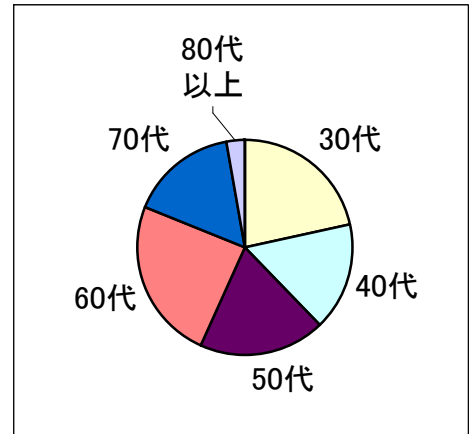
2012年2月4日 宮崎の海岸シンポジウム アンケート集計

アンケート用紙配布枚数 59 枚  
 アンケート回収枚数 37 枚

回収率 63 %

年齢分布

	人数	割合
10代以下	0	0
20代	0	0
30代	8	22
40代	6	16
50代	7	19
60代	9	24
70代	6	16
80代以上	1	3
不明	0	0
合計	37	



シンポジウムの情報入手先

	人数
知人	15
チラシ	6
郵送案内	3
メール	3
インターネット	3
テレビ	2
ラジオ	1
新聞	1
行政機関	1
市民談義所	1
その他	1
合計	37

住所

	人数
宮崎市内	27
日南市	2
高鍋町	1
国富町	1
福岡市	2
茨城県	1
県外	1
無回答	2
合計	37

浜へ出る頻度

	人数
ほとんど毎日	2
週に1回	7
週に1-3回	1
週に3回	1
月に1回	11
月に2, 3回	1
年に1回	7
年に1, 2回	1
年に3, 4回	2
年に4, 5回	1
年に5回	1
その他	2
合計	37

砂浜が侵食されているのを知っているか

	人数
はい	36
無回答	1
合計	37

シンポジウムは有効だったか

	人数
はい	35
無回答	2
合計	37

300mの突堤計画を知っていたか

	人数
はい	29
いいえ	6
無回答	2
合計	37

市民談義所が開かれていることを知っているか

	人数
はい	29
いいえ	7
無回答	1
合計	37

自由意見記述 (21名)

自然豊かな海岸を残していければ良いと思う。間違ってもテーマパークのようにはなつてほしくない。
川崎さんのコーディネーターぶるがすてきだった。来年もお願いします。
地域の核になる場所になれば良いと思う。今は、市民でも海岸に親しみのない人が多いのでは。そのために、広々とした砂浜、そしてアクセスの向上。
笑顔あふれる海岸。自然・安全のバランスのとれた海岸(人の生活・利活用)
侵食が進んでいるとは知っていましたが、改めて写真を見るとショックを受けました。専門家・当事者だけでなく、市民一人一人の問題として広がっていくといいですね。一般の人たちをもっとまきこめるようなやりかたってないのでしょうか。ありがとうございました。
地元、地域の人(それ以外の海岸が好きな人も)砂浜や海岸に関する地域の取り組みを他の人に紹介したくなるような海岸になってほしい。
1. 自然と共生する安全な海岸、2. 利用者の満足感が高まる海岸
1. 台風などにも耐えられる砂浜の再生、2. そのためには、手段を選ばない対応
できるだけ自然の状態での保護が望ましいと思いますが、現状での対策として最善な対策を行政と市民との対話と勉強会で情報の共有を測ること。
昔みたいになってくれるといいと思います。
できるだけ自然のままにしてほしい。海岸の現状をうまく活用してほしい。コンクリートはできるだけ入れない。ムダ
市民のいこいの場として観光客に自慢できる景観資源として、海岸と砂浜を守っていきたい。
砂浜が昔のように復活して、遊べる空間ができると良い
生態系の豊かな、磯の香りのする、潮騒の聞ける浜
広い砂浜が続き、海がめの来る場所が多くなるように希望しています(レストハウスの前の浜は、30年前は、子供たちの遊び場でした。今は砂浜がないのには、びっくりしています)
遠浅の海岸がなくなった原因の研究が不足している(施設造りが先行していると思う)
今日は勉強ができた
いわゆる白砂青松の海浜を目指すこと。今日の会議で砂浜ができるとは思わない。危機と思います。
自然の成り立ち=山から砂が運ばれる→海岸が豊かになる。この原理に基づいた復元が必要で、これをどう実現するかを問い直す必要があると思います。海岸だけの対症療法で解決できる問題とは思われません。
海岸で遊びのできること
侵食を止める事は、無理と思います。ある造園業者の話を個人的に聞きました。裏面に図を描きます。